

UZU ポスト

No.6 ～パフォーマンス評価編～

2016. 6.8 山崎 美樹

次期学習指導要領改訂に向けて、中央教育審議会の教育課程企画特別部会が平成27年8月にまとめた「論点整理」では、パフォーマンス評価がキーワードの一つに挙げられています。パフォーマンス評価とは何か、またどのように取り組んでいけばいいのか。そのヒントと思われることを整理したいと思います。生徒が主体的に学ぶための動機づけ（課題設定）の参考になるのではないのでしょうか。



1. パフォーマンス評価とは？

知識やスキルを使いこなす（活用・応用・総合する）ことを求めるような評価方法。

単純



複雑

- ・授業における活動の評価
- ・自由記述式の筆記テストの評価
- ・実技テストの評価
- ・**パフォーマンス課題**の評価

（リアルな文脈において、知識やスキルを総合して使いこなすことを求めるような課題。）

2. パフォーマンス課題の作り方とポイント

- ① その単元で学ばせるべき中核部分を考える。
- ② 「本質的な問い」を設定する。

- ・生活との関連が見えてくるような問い。
- ・一問一答では答えられない問い
- ・単元を越えて繰り返し現れるような問い。

- ③ 理解してほしい（身に付けさせたい）内容を明文化する。
- ④ パフォーマンス課題のシナリオを考える。

↓ パフォーマンス課題の具体例



【数学】～資料の活用～

○本質的な問い

- ・資料をどのように活用すれば世の中の役に立つか。
- ・不確定な事象を捉えるにはどうすればよいか。

○パフォーマンス課題～麻酔薬の効果～

あなたは、製薬会社の研究員です。現在、麻酔薬Aと麻酔薬Bの2種類を開発中です。それぞれの麻酔薬の持続効果時間を調査したところ、表のような結果が出ました。調査対象は①～⑳の20名で、同じ番号の人は同一の人物を示しています。麻酔薬Bの検査では、都合により⑧⑩⑭⑰の人は検査を実施できませんでした。このデータをもとに、麻酔薬Aと麻酔薬Bの効果についてあなたは報告しなければなりません。データを数学的に考察した報告書を作成してください。

【理科】～地球と宇宙～

○本質的な問い

- ・太陽や星座の天球上の動きは、地球の運動とどのように関係しているか。
- ・太陽と月の見え方から、どのような特徴や動き・位置関係が分かるのか。

○パフォーマンス課題～プラネタリウムで解説しよう～

あなたはプラネタリウムの職員です。

（1）小学生の子どもたちに星の一日の動きを説明することになりました。実際には星は動いておらず、地球が自転していることを示しながら、3つの星（地軸の近くの星、少し離れた星、大きく離れた星）がどのように動いて見えるかを説明してください。天球上に3つの星の動く道筋を描いて説明すること。

（2）中学1年生の生徒たちに、四季の星座がなぜ移り変わるのかを説明することになりました。図を描いて、それを使いながら説明しましょう。

3. パフォーマンス課題をどう評価するか

パフォーマンス課題で生み出された作品については、○か×かで採点することができません。そこで、採点指針として、ルーブリック（評価指標）を共同で作成します。それにより、評価の観点や水準がそろいます。

- ① パフォーマンス課題を実施し、子どものパフォーマンスの事例（作品や実演）を集める。
- ② パッと見た印象で、「5 素晴らしい」「4 良い」「3 合格」「2 もう一歩」「1 かなりの改善が必要」という5つのレベルで採点する。
- ③ それぞれのレベルに群にどのような特徴がみられるかを読み取り、記述語を作成する。

パフォーマンス課題の具体例が、全ての教科で入っています！
参考にしたい方は山崎まで。

（出典）

『「活用する力」を育てる授業と評価 中学校
パフォーマンス課題とルーブリックの提案』
西岡加名恵・田中耕治（編著）学事出版